2026 年 11 月 10 日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学
日東紡績株式会社
NanoFrontier 株式会社

JST「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」に採択
「革新的な機能性ナノ材料で実現するゼロカーボン未来地域共創拠点」始動
～東北大学「FUKUSHIMA サイエンスパーク構想」の中核的取組として推進～

【発表のポイント】

- **JST「COI-NEXT」に採択**：東北大学を代表機関、浪江町・福島県を幹事自治体、日東紡・NanoFrontier を幹事機関とする提案プロジェクトが、共創の場形成支援プログラム（未来共創分野）に採択されました。
- **FUKUSHIMA サイエンスパーク構想の中核**：東北大学が世界をリードする「革新的な機能性ナノ材料」をキーサイエンスに掲げ、同構想の中核を担う産学官共創拠点としてゼロカーボン社会の実現に挑みます。
- **地域課題の解決から全国・世界への展開**：浪江町の 2035 年ゼロカーボン達成を皮切りに、2040 年福島県全域、2050 年日本全国へと成果を波及させ、創造的復興のモデルを世界へ発信します。

【概要】

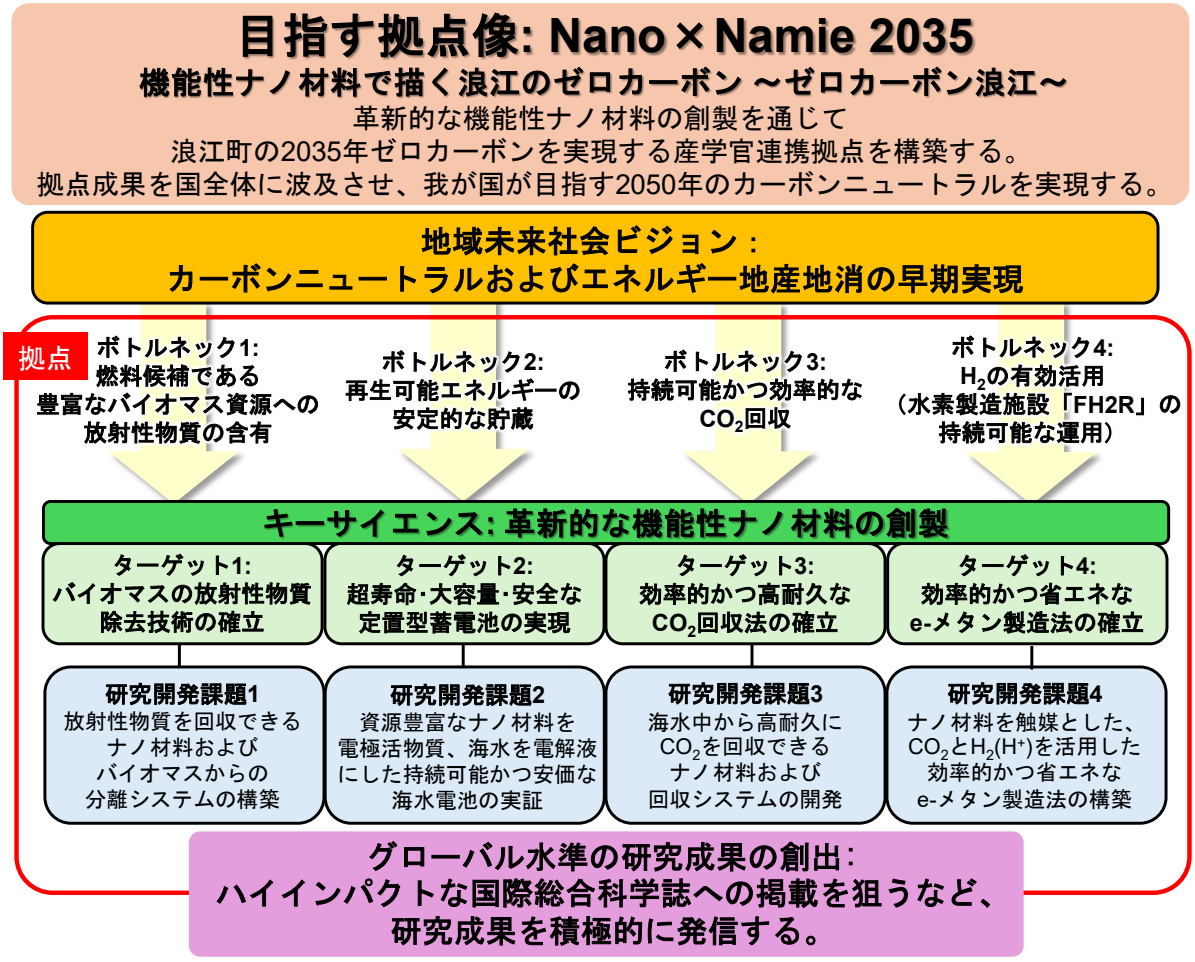
国立大学法人東北大学（以下、東北大学）、日東紡績株式会社（以下、日東紡）、および NanoFrontier 株式会社（以下、NanoFrontier）をはじめとする産学官連携コンソーシアムは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT） 未来共創分野」において、提案課題「革新的な機能性ナノ材料で実現するゼロカーボン未来地域共創拠点」（プロジェクトリーダー： 東北大学 多元物質科学研究所 准教授　岡 弘樹）が採択されたことをお知らせいたします。

本拠点は、福島県浪江町が掲げる「なみえエネルギーチャレンジ 2035」に基づき、東日本大震災からの創造的復興を、グローバルな気候変動課題への先駆的応答へと昇華させる取組です。東北大学としては、本拠点を東北大学「FUKUSHIMA サイエンスパーク構想」における中核的取組として強力に推進し、地域未来社会ビジョンである「カーボンニュートラルおよびエネルギー地産地消の早期実現」を目指します。

【詳細な説明】

１．背景とねらい

幹事自治体である福島県・浪江町は、2035 年までのカーボンニュートラル達成を目指す復興指針を掲げています。本拠点では、このビジョンからのバックキャストにより、カーボンニュートラルおよびエネルギー地産地消の阻害要因となる 4 つのボトルネック（放射性物質を含むバイオマス、再エネ貯蔵、CO_2 回収、水素有効活用）を技術的に解決し、次世代イノベーションの創出を目指します。



２．「共創研究所」との連携による社会実装の加速

東北大学・日東紡・NanoFrontier の３者は、2025 年 11 月に学内に設置した「ナノ材料でイノベーションを加速する共創研究所」などの強固な連携基盤を活用します。先端ナノ材料の探索研究から PoC（概念実証）、技術移転・社会実装、事業化までを一気通貫で迅速に推進します。

【拠点概要】

名称： 革新的な機能性ナノ材料で実現するゼロカーボン未来地域共創拠点

代表機関： 国立大学法人東北大学

プロジェクトリーダー： 岡 弘樹（東北大学 多元物質科学研究所 准教授）

幹事自治体：浪江町、福島県

幹事機関：日東紡績株式会社、NanoFrontier 株式会社

参画機関：株式会社なみえミライエナジー、株式会社東邦銀行、株式会社福島民報社、国立大学法人福島大学、学校法人上智学院（上智大学）、国立大学法人茨城大学、国立大学法人九州大学、国立大学法人京都工芸繊維大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、株式会社リバネス、日鉄ケミカル＆マテリアル株式会社、株式会社ジェネシア・ベンチャーズ、株式会社メニコン、株式会社 RYODEN、一般財団法人電力中央研究所、一般社団法人モクティ倶楽部、一般社団法人持続可能で安心安全な社会をめざす新エネルギー活用推進協議会(JASFA)

【用語説明】

注１．日東紡：電子材料事業（スペシャルガラス）、メディカル事業（体外診断用医薬品）、複合材事業、資材・ケミカル事業、断熱材事業の５つの事業を展開する素材メーカーです。
(URL：https://www.nittobo.co.jp/)

注２．NanoFrontier：東北大学の研究成果を基盤として 2025 年 4 月に設立され、仙台市に本社を置く東北大学発スタートアップ企業です。独自のナノ粒子連続製造技術を核に多様な機能性ナノ材料を開発し、環境・エネルギー・ライフサイエンス分野の社会課題解決に取り組んでいます。
(URL：https://nanofrontier.jp/)

注３．東北大学 FUKUSHIMA サイエンスパーク構想：本学が青葉山新キャンパスに整備を進める「サイエンスパーク」と同様に、産学官金の結節点となり、社会価値創造を行う共創の場として、福島県浜通り地域に新たな研究開発拠点を整備、地域の創造的復興に貢献します。
(URL：https://www.ggi.tohoku.ac.jp/fukushima_sciencepark/)

【本件に関するお問い合わせ先】

東北大学 多元物質科学研究所
准教授 岡 弘樹（おか こうき）
TEL： 022-217-5585
Email： oka@tohoku.ac.jp

東北大学 産学連携部特定事業戦略室
グリーン未来創造事業係
Email：skk-green@grp.tohoku.ac.jp

東北大学 パブリックリレーションオフィス
報道担当
Email: press@grp.tohoku.ac.jp

日東紡績株式会社
コーポレート・コミュニケーション部
Email：ir@nittobogrp.com

NanoFrontier 株式会社
Email：corp@nanofrontier.jp